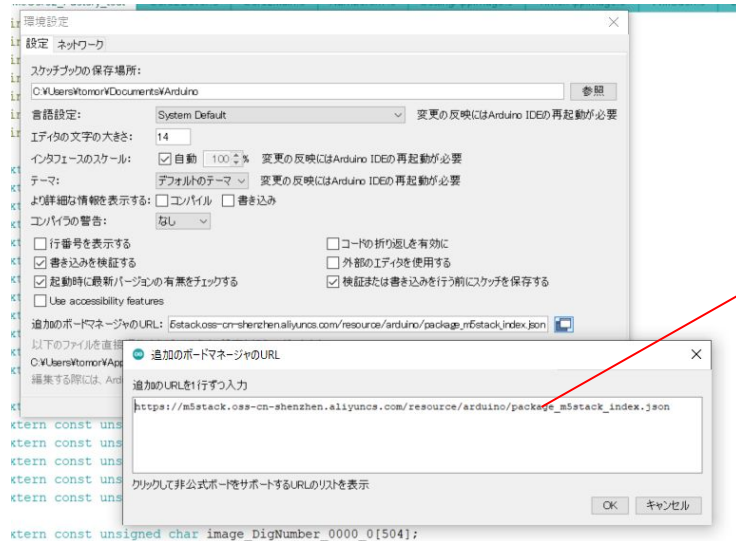


M5Stackと一緒に作ろう！
IoTセンシング・エッジ×クラウド連携システム開発
【トラブルシューティング】

ボードマネージャで”M5Stack”が見つからない

“追加のボードマネージャのURL”を確認してください

- ArduinoIDEを起動し[ファイル] -> [環境設定] で環境設定画面を開きます。
- "追加のボードマネージャの URL"に追加したURLが正しいことを確認してください。
https://m5stack.oss-cn-shenzhen.aliyuncs.com/resource/arduino/package_m5stack_index.json



M5StackのURLが正しいことを確認

Arduino IDEの環境設定画面

M5Stackの電源を入れても何も表示されない

M5Stackにサンプルプログラムを書き込んでみてください

- M5Stackはプログラムで描画を行わないとLCD画面に何も表示されません。
もし何も表示されない場合は、画面表示を行うサンプルプログラムを書き込んで LCD画面が表示されることを確認してください。



サンプルプログラムの「Display」を実行中の画面

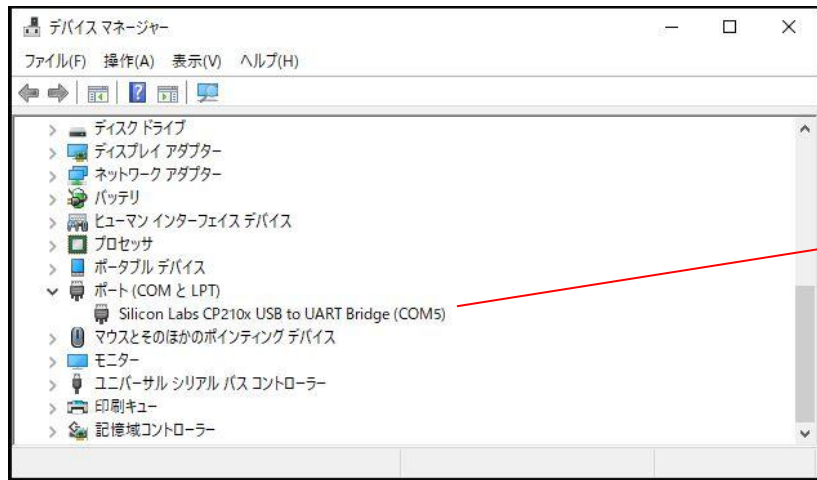
M5StackをPCに接続しても認識されない

PCに最新のドライバをインストールしてください

- PCとM5Stackを接続しても認識されない場合は、以下から「CP210x USB to UART Bridge VCP Driver」をダウンロードしてインストールしてください。

- Silicon LabsのVCP Driver Download:

<https://www.silabs.com/products/development-tools/software/usb-to-uart-bridge-vcp-drivers>



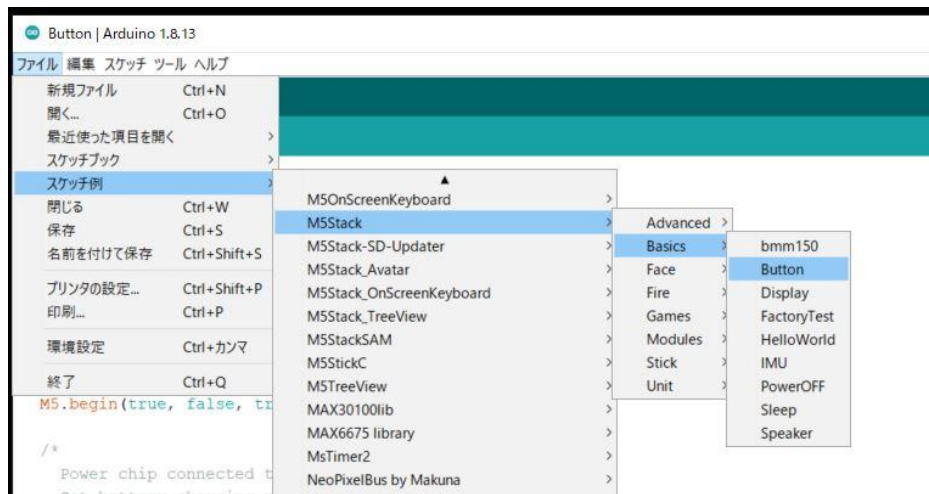
「Silicon Labs CP210x USB to UART Bridge」として認識される
(この例ではCOM5に割り当て)

デバイス マネージャーで正常に認識されているか確認

サンプルプログラムが見つからない

事前配布したファイルのものを使用してください

- 環境によっては下図の[ファイル]->[スケッチ例]に”M5Stack”が出てこない場合があります。
- 使用するプログラムは事前配布ファイルのArduino.zip”の中にもありますので、[スケッチ例]に”M5Stack”がない場合はこちらを使用してください。



「M5Stack Library」のサンプルプログラムの場所

コンパイルでエラーが出る

エラーメッセージをコピーしてエディタで確認してください

- スケッチのコンパイルでエラーが発生した場合は、メッセージエリアの上部がオレンジ色になります。
- [エラーメッセージをコピーする]ボタンを押すと、クリップボードにコピーされますので、メモ帳等のエディタに貼り付けて内容を確認できます。

エラーが発生すると、
ここがオレンジ色になる

```
m5.Lcd.println("ambient begin...");  
M5.Lcd.print(" channelID:");  
M5.Lcd.println(channelId);  
シリアルポート「Failed to execute script esptool」が選択されていますが、そのポートは存在しないか、ボードが接続されていません。  
File "site-packages\serial\__init__.py", line 88, in serial_for_url  
File "site-packages\serial\serialwin32.py", line 62, in open  
serial.serialutil.SerialException: could not open port 'COM7': WindowsError(2, '\x8ew\x92\xe8\x82')  
Failed to execute script esptool  
シリアルポート「Failed to execute script esptool  
」が選択されていますが、そのポートは存在しないか、ボードが接続されていません。
```

エラーメッセージの
コピーボタン

エラー発生時の画面

この例はシリアルポートにバイスが接続されていない時のエラー

「複数のライブラリが見つかりました」がエラーになる

重複しているライブラリを移動してください

- コンパイル時に「SD.h」と「WiFi.h」に対して「複数のライブラリが見つかりました」というメッセージがエラーになることがあります。(エラーにならない場合もあります)
その場合は、ArduinoIDEのライブラリフォルダ
(デフォルトは""C:\Users\{ユーザー名}\Documents\Arduino\libraries")
の「SD」と「WiFi」というフォルダをライブラリフォルダの外に移動してみてください。

```
esptool.py v3.0-dev
「SD.h」に対して複数のライブラリが見つかりました
使用済: C:\Users\tomor\AppData\Local\Arduino15\packages\m5stack\hardware\esp32\1.0.7\libraries\SD
未使用: C:\Users\tomor\Documents\Arduino\libraries\SD
「WiFi.h」に対して複数のライブラリが見つかりました
使用済: C:\Users\tomor\AppData\Local\Arduino15\packages\m5stack\hardware\esp32\1.0.7\libraries\WiFi
未使用: C:\Users\tomor\Documents\Arduino\libraries\WiFi
次のフォルダのライブラリM5Stackバージョン0.3.2を使用中: C:\Users\tomor\Documents\Arduino\libraries\M5Stack
```

ライブラリ重複のメッセージ

「複数のライブラリが見つかりました」表示の例
これがエラーになる場合は、重複する片方のフォルダを移動してみる

WiFi Managerの使用時に”M5StackAP”が出てこない

既に設定値が読み込まれている可能性があります

- WiFi Managerを使用したプログラムではM5Stackの内部の不揮発性メモリに設定値を保存しています。設定値が保存されている場合は、自動でWiFiに接続されます。
- 設定値は、本セミナーのサンプルプログラムを書き込んでも消去されません。サンプルプログラムの「M5_ZEP_WiFiExample2」を書き込んでみて、既にWiFiにされた状態になっていないかを確認してください。

M5Stack上に記憶されている
アクセスポイント情報

```
M5Stack Wi-Fi Test2
AP Name: M5StackAP
IP addr: 192.168.4.1
CONNECTED
SSID:airport_03
IP addr: 192.168.100.7
HTTP://wifitest.adafruit.com/testwifi/index.html
HTTP/1.1 200 OK
Server: nginx/1.10.3 (Ubuntu)
Date: Sun, 14 Mar 2021 02:29:54 GMT
Content-Type: text/html
Content-Length: 70
Last-Modified: Thu, 16 May 2019 18:21:16 GMT
Connection: keep-alive
ETag: "5cdda1c-46"
Accept-Ranges: bytes
This is a test of Adafruit WiFi!
If you can read this, its working :)
```

正常にWiFiに接続された状態の時のM5Stackの画面